

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は 発表学会等の名称	概 要
(著書(欧文)) 1.				
(著書(和文)) 1. 「学校のエスノグラフィ―事例研究から見た高校教育の内側―」	共著	2004年	嵯峨野書院	教育困難校といわれる高校の学生を対象に行ったインタビューを通して見えてきた現代の高校生の実像、学校や友達・教師に対する思いや姿勢等から、高校以前の教育のあり方を考察した内容をまとめている。 著者：古賀正義 荒川葉 遠藤宏美 李敏 石戸谷繁 荒川英央 木村由 希 門脇厚司 担当頁：PP175～177 総頁数212頁
2. 保育の道をめざす人へのアドバイス―養成校の学び方から就職活動まで―	共著	2012年3月	株式会社みらい	保育士を目指す学生が持つべき心構えについてまとめている。 紙透雅子編著 他執筆者4名 第2章を分担執筆 分担頁 (31頁～51頁) 保育士を目指す学生が、保育士の資格や仕事の内容等について理解できるよう具体的な事例を含めて説明している。 総頁数186頁
3. 知って役立つあったか会話術～福祉現場に求められるコミュニケーション～いばらきスマート本	共著	2013年3月	社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会	保育士を目指す学生および現場で働く保育士が持つべき心構えについてまとめている。 高橋真知子編著 他執筆者3名 分担頁 (73頁～77頁) 総頁数160頁
4. 厚生労働省指定通信教育 保育士試験合格指導講座DVD 「よくわかる言語表現に関する技術実技試験のポイント」 監修	共著	2013年12月	株式会社ユーキャン	保育士資格試験2次試験で、実技試験「言語表現」を受験予定のする受講生向けのDVDおよび冊子の製作・監修を担当している。DVDには講師として出演している。 他監修者2名 分担頁 (13頁～23頁) 総頁数49頁

5. コンパス保育内容言葉第2版 (建帛社)	共著	2018年3月	建帛社	「第9章 領域「言葉」のねらい及び内容を理解する」の部分を担当する。環境としての保育者が子どもたちに与える影響力の大きさ、保育者の援助の意味やあり方、具体的な実践方法について解説している。 著者：内藤知美 新井美保子 石川真由美 今田由香 <u>木村由希</u> 以下15名 担当頁：P. 85～92
6. コンパス保育内容乳児保育 (建帛社)	共著	2018年2月	建帛社	第5章「基本的生活習慣の獲得」を担当し、乳児保育における生活や生活習慣の獲得についての発達過程や援助・環境構成について解説している。 著者：咲間まり子 浅木尚実 小川千晴 郭小蘭 菊地篤子 木村たか子 <u>木村由希</u> 永井久美子 永瀬悦子 中野明子 波多野名奈 細井香 丸橋亮子 担当頁：P. 64～72
7. ワークで学ぶ乳児保育 I II	共著	2022年1月	(株) みらい	第1章「乳児保生活の基本と配慮事項」及び第7章「乳児保育における生活の流れと健康・安全」を担当。著者：菊池篤子 市野茂子 <u>木村由希</u> 他 担当ページ数：10ページ
8. 「仲間とつながり対話が深まるプログラム ファシリテーターのためのハンドブック」	共著	2023年3月	光和印刷	これまでに実施したプログラム実践の内容・記録をまとめ、ファシリテーター育成のためのハンドブックとして発行した。
(学術論文(欧文)) 1.				
(学術論文(和文)) 1. 「家庭の養育態度」	単著	1994年3月	お茶の水女子大学 家政学部児童学科	学士論文 学童期の子どもを持つ親が「叱り方・ほめ方」についてどのような意識をもち、実践しているかを調査し、考察している。
2. 「子育てサークルに関する実証的研究」 —子育てサークルの可能性—	単著	2002年3月	宮城教育大学大学院 教育学研究科	修士論文 仙台市で展開する子育てサークルに関する調査、行政・主催者・参加者へのインタビュー、活動の参観・参加等を行い、子育てサークルが子育て中の母親に及ぼす影響について実証的に検証している。また地域に根差したよりよい子育て支援の在り方・可能性についても考察している。

<p>3. 「子育てサークル活動についての実証的研究—子育てサークルの可能性—」</p>	<p>単著</p>	<p>2002年3月</p>	<p>教育論集第14号 宮城教育大学大学院 教育学研究科</p>	<p>仙台市における子育てサークルの概要および活動状況、子育てに及ぼす影響とその可能性について述べている。 (1頁～35頁)</p>
<p>4. 「ノーバディーズ・パーフェクトプログラムを用いた園内研修プログラムの検討」</p>	<p>共著</p>	<p>2019年3月</p>	<p>茨城大学教育実践研究37</p>	<p>保育者が各々の力を発揮し、その専門性を高めていくことができる園を作り上げていくために、園内研修の充実は欠かせない。その園内研修で用いることのできる保育の質と同僚性の向上を目指したプログラムについての実践及び効果について考察している。 P327-336</p>
<p>(紀要論文)</p> <p>1. 「子どもの心の流れにそった教育課程編成に向けて」—子どものありのままの姿への対応—</p> <p>2. 「子どもの心の流れにそった教育課程編成に向けて」—子どもたちが織りなしていく生活のなかから—</p> <p>3. 「地域と共に」—出会い・触れ合い・育ち合い—</p> <p>4. 「『見つける・気づく・考える』力を育てる」—遊びを深める環境の構成—</p> <p>5. 「『見つける・気づく・考える』力を育てる」—学びの基礎を培う生活の中から—</p> <p>6. 研究ノート「乳児保育」の授業実践に関する考察—履修学生の意識調査から—</p>	<p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>単著</p>	<p>1996年11月</p> <p>1997年11月</p> <p>1998年11月</p> <p>2003年11月</p> <p>2004年11月</p> <p>2008年3月1日</p>	<p>茨城大学教育学部附属幼稚園研究紀要12</p> <p>茨城大学教育学部附属幼稚園研究紀要13</p> <p>茨城大学教育学部附属幼稚園研究紀要14</p> <p>茨城大学教育学部附属幼稚園研究紀要19</p> <p>茨城大学教育学部附属幼稚園研究紀要20</p> <p>常磐短期大学紀要第36号</p>	<p>保育実践に基づいた事例部分を執筆。分担頁(24頁～25頁, 30頁～32頁, 53頁～54頁, 64頁～66頁)総頁数82頁他分担者6名</p> <p>保育実践に基づいた事例部分を執筆。分担頁(19頁)総頁数47頁他分担者6名</p> <p>保育実践に基づいた事例部分を執筆。分担頁(25頁～28頁)総頁数57頁他分担者6名</p> <p>保育実践に基づいた事例部分を執筆。分担頁(18頁～22頁)総頁数59頁他分担者6名</p> <p>保育実践に基づいた事例部分を執筆。分担頁(16頁～18頁)総頁数59頁他分担者6名</p> <p>養成校に入学した学生の、これまでの乳児に関わる体験の有無や内容、知識等について調査し「乳児保育」の授業で取り扱うべき内容等について考察している。 (52頁～57頁)</p>

7. 保護者の養育力エンパワーメントに関する研究① 保育実践に基づく情報提供が保護者の養育力に与える影響について	共著	2009年3月	常磐短期大学紀要第37号	保育実践で得た子どもに関する情報や、発達や子育てに関するヒント等をニューズレターという形で保護者に情報提供をする。そのことが保護者の養育力にどのような影響をもたらした、またどのような内容の情報提供を行うことが求められているのかを探っている。 (52頁～57頁) 共著者：鈴木康弘 江波諄子 木村由希 大津美紀
8. 研究ノート「T大学幼稚園における子育て支援活動の実践と考察」	単著	2010年3月1日	常磐短期大学紀要第38号	常磐大学幼稚園「まつの子ぐみ」において実践した子育て支援活動と、参加する保護者に対して実施したアンケート結果について考察している。 (121頁～128頁)
9. 幼稚園教育要領をベースとした幼児の育ちをとらえるフレームの提案	共著	2011年3月	常磐短期大学紀要第39号	幼稚園における教育の効果（子どもの育ち）を客観化するスケールの一つとして、幼稚園教育要領に基づいた育ちを捉える尺度を検討・提案している。 (21頁～28頁) 共著者：鈴木康弘 江波諄子 木村由希
10. 報告「子育て支援プログラムの実践に関する一考察」	単著	2013年3月29日	常磐短期大学紀要第41号	茨城県内で実践してきた子育て支援プログラムについて、プログラム内容の検討・考察及び今後の可能性について考察を行っている。 (83頁～93頁)
11. 「保育士養成課程の学生における保育体験活動による学び—実習・就職への意欲や不安との関連性—」	共著	2019年3月	常磐短期大学研究紀要第47号	1年生に、夏休み等に学外での保育体験活動を促し、実習前の早い時期に保育施設において様々な経験や学びを積むことが、その後の授業や実習への取り組みにどのような影響をもたらすかを調査し、その結果を考察した。P. 1～13
12. 茨城大学紀要「子ども・保護者に誠実な園運営—園長（管理職）へのインタビューから見えてきたこと—」	共著	2019年11月	茨城大学教育実践研究38	北海道から沖縄まで全国18園を訪問、園長等へのインタビューを通して見えてきた保護者・子どもに対して誠実に向き合う園運営の視点について考察した。
13. 「コロナ禍における保育者養成—実習及び指導の現状と課題について—」	共著	2022年3月	育英短期大学紀要第20号	・関東近県の養成校で実習に携わる教員の共同研究。コロナ禍における実習の状況、学生指導内容、各施設との対応等について養成ごとに調査したこと等をまとめた。 ・日本保育者養成協議会関東ブロック事務局による研究費を受けての共同研究である。

13. 「子どもと言葉Ⅱ」における保育教材研究に関する一考察 —実演発表における評価シートから—	単著	2022年3月	教職実践研究第7号	・「子どもと言葉Ⅱ」の授業において、保育実習での実践を想定した教材作成、実演発表及び相互評価を行うことの効果について検討し、論文にまとめた。
(辞書・翻訳書等) 1.				
(報告書・会報等) 1.				
(国際学会発表) 1.				
(国内学会発表) 1. 口頭発表「親子の育ちを支える子育て支援について(1)」	共著	2008年5月	第61回日本保育学会	私設の子育て支援施設に集う2歳児親子を対象にした実践研究に関する発表を行った。2歳児のこの時期に、子・親それぞれに必要な支援を探りながら行った実践の概要とそれに関する考察、市内の支援状況を調査・比較し、小規模施設独自の支援方法を確立する柱等について明らかにした。
2. ポスター発表「幼児の表現活動を支援するために —こどもの表現と幼児教育をつなぐ支援者育成のための実践研究—」	共著	2008年5月	第61回日本保育学会	幼児の体やことば、身の回りの様々なものを通じた表現活動を支えていくために必要な環境や保育者の援助のあり方を探るために、大学・短大教員、幼稚園教諭、アートエデュケーター等と連携し、大学、短大、幼稚園、子育て支援施設の2歳児親子など、様々な所属・年齢層の人を対象に、表現活動に関する実践を行った。その取り組みの報告と考察について発表した。
3. 口頭発表「親子の育ちを支える子育て支援について(2)」	共著	2009年5月	第62回日本保育学会	第1報で明らかにしたことを柱に実践を重ねながら、幼稚園就園前の親子が必要とするニーズを探り、地域に根ざした子育て支援施設に求められる支援のあり方について考察した内容を発表した。
4. ポスター発表「短期大学生の食生活・食体験の実態と考察①」	共著	2009年5月	第2回日本食育学会	短期大学生の食生活に関する意識調査の結果・考察について発表した。
5. ポスター発表「短期大学生の食生活・食体験の実態と考察②」	共著	2009年5月	第2回日本食育学会	短期大学生の食体験(栽培・調理等)に関する調査の結果・考察について発表した。
6. ポスター発表「短期大学生の食生活・食体験の実態と考察③」	共著	2009年5月	第2回日本食育学会	短期大学生の食意識についての調査結果・考察を発表した。

7. 口頭発表「幼児の育ちを捉えるフレームの検討 ―幼稚園教育要領をベースとして―」	共著	2011年5月	第64回日本保育学会	幼稚園における教育の効果（子どもの育ち）を客観化するスケールの一つとして、幼稚園教育要領に基づいた育ちを捉える尺度を検討し、その結果を発表した。
8. 口頭発表「関係性を深め、自己省察を生み出す研修の必要性 ―NPの手法を用いて―」	共著	2017年5月	第71回日本保育学会（宮城女子学院大学）	同僚性を高め、保育の質の向上を目指して協力し合う保育者集団の形成に有効な園内研修プログラムを、NPプログラムの手法を用いて実践し、その効果について検討した内容を発表した。
9. 口頭発表「保育者・子ども・保護者を大事にする園運営①」	共著	2019年3月	第3回保育者養成教育学会（東北福祉大学）	保育者の早期離職が著しい中、保育者が職を継続し、その専門性を高めることができる園とはどのような園なのか、どのような管理職の考えや工夫があるのかを明らかにしたことを発表した。
10. ポスター発表「保育者・子ども・保護者を大事にする園運営②」	共著	2019年3月	第3回保育者養成教育学会（東北福祉大学）	優れた園運営を行っている園を訪問して管理職等にインタビューを行い、それぞれの状況や園運営の考え方、工夫等について調査し、目指す園運営の方向性を検討した。
11. 口頭発表「関係性を深め、自己省察を生み出す研修の必要性③ ―園内研修終了後の効果の持続―」	共著	2019年5月	第72回日本保育学会	NPプログラムを応用した園内研修プログラムを実施した園の職員を対象に、園内研修終了後もその効果が持続しているかを、インタビューによる分析によって明らかにした。
12. 口頭発表「関係性を深め、自己省察を生み出す研修の必要性④ ―研修実施前後の変化―」	共著	2019年5月	第72回日本保育学会	NPの手法を用いた園内研修プログラムの研修実施前と実施後の変化を、研修参加者へのインタビューを考察する。
13. 口頭発表「保育者・子ども・保護者を大事にする園運営」	共著	2019年5月	日本家政学会	全国18園の園長へのインタビューを通して、保育者・保護者・子どもを大事に考える園運営の在り方が、良好な園環境と保育の質の向上に関連することを明らかにした。
14. ポスター発表「保護者を大事にする園運営」	共著	2019年9月	OMEPアジア・太平洋地域大会2019in京都	園長等へのインタビューを通して、保育者にとって働きやすく、また専門性を高める機会を積極的に提供しようとする園長の考え方が、保育の質の向上につながっていくことを明らかにした。
15. 園内研修におけるリフレクティングチームアプローチの可能性	共著	2021年5月	日本保育学会第75回大会第	・リフレクティングチームアプローチの手法を用いた本プログラムが、自分を内省的かつ肯定的に振り返ることができる園内研修になり得る、それらのことが研修参加者への事後インタビューから示唆された、という内容を発表した。

16. ポスター発表「保育者養成校における新型コロナウイルス禍での保育・幼稚園教育実習中止に伴う代替授業と授業外における学生指導と対応—学生対象アンケート分析を中心に—」	共著	2022年5月	第75回日本保育学会	関東近県の養成校で実習に携わる教員の共同研究。学生へのアンケートをもとに、コロナ禍により中止になった実習の代替授業の状況や指導内容等について分析、考察した結果を発表した。
17. ポスター発表「養成校における遊びなおしの実践」	単著	2023年3月	日本保育者養成教育学会第7回研究大会	「遊びなおし」実践を行った学生の記述から、学生の学びや気づきについて考察したことをまとめ、ポスター発表を行った。
(演奏会・展覧会等)				
1.				
(招待講演・基調講演)				
1.				
(受賞(学術賞等))				
1.				
(辞書・翻訳書等)				
1.				

研 究 活 動 項 目

助成を受けた研究等の名称	代表, 分担等の別	種 類	採択年度	交付・受入元	交付・受入額	概 要
(科学研究費採択)						
1. 同僚および自己との対話による研修プログラム開発とその効果の検討			平成27年～29年			科研費基盤研究C 採択年度平成27年～29年
2. 「子育ての社会化」を実現する地域包括支援プログラムの開発とその実践・普及			平成31年～令和3年			科研費基盤研究C 採択年度平成31年度～令和3年度
(競争的研究助成費獲得(科研費除く))						
1.						
(共同研究・受託研究受入れ)						
1.						
(奨学・指定寄付金受入れ)						
1.						
(学内課題研究(共同研究))	分担		2009年度			幼稚園における保護者の養育力を高めるためには、どのような内容を子育て支援の内容に組み込んでいったらよいのかを実践を通して考察した。
(学内課題研究(各個研究))						
1.						
(知的財産(特許・実用新案等))						
1.						